

清流

いつでもご連絡
くださ〜い!



2011年

秋号

第11号

発行/勝部 俊徳 後援会事務所

発行責任者 勝部 俊徳
(伯耆町議会議員)

〒689-4134

鳥取県西伯郡伯耆町遠藤14番地

◆TEL:0859-68-3173

◆携帯:090-6415-9656

H23年9月定例会での「一般質問」です!

- ① (旧)岸本町役場跡地(約650坪)をキチンと整備して駐車場などへの活用を!



・現状は、南側の約半分は、真砂土で縄張り状態。
 ・西側の部分は、雨天時は、プール状態。東側の舗装は、バラバラ。

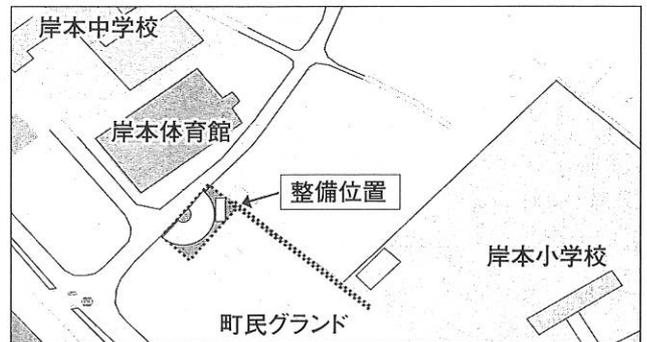
- ② まちづくりの“大きなルール”づくりの改定を!
 ——「伯耆町行政改革大綱」を新たに作り、「住民サービスの向上」と「次世代への土台づくり」を!
 ③ 合併時からの、この大綱(ルール)は、H21年度で期限切れとなっているため。
 ※ また、「行財政運営審議会」(条例委員化とする。)を設け、町民の声を町政へ反映!(南部町は設置)

- ③ 固定資産の評価替え
 H24年度課税となる「土地・家屋」の評価替えの状況を質問しました。
 <担当課長の答弁(要旨)>
 ●土地の基準地・標準地の不動産鑑定評価は、宅地で約8%下落。課税評価は、下落見込み。
 ●家屋は、再建築評点や耐用年数、残存価格などからして、単純には評価額落ちとはならないこともある。

- ④ 有利な起債(町の借入金)で、あしたへと結ぶ必要な事業展開を!
 ●合併特別債(その70%を地方交付税で算入補てん)という有利な借入金を使って「まちづくり、防災、環境、健康、教育」などへ、……しっかりとした投資をすべきである!
 ●合併した町に10年間で借入可能。
 ●借入可能額約47億円-発行済+発行見込額は、約24億円(現時点)=差引約23億円の投資可能!

新しいバス・ロータリー整備に着手!

- ……岸本中学校前 11月使用開始見込み。
- 町民グランド(岸本)内に、バス・ロータリーを整備する(10月末完成見込み。総事業費約2千万円)バス待合、舗装、フェンスなど
 - 小学校と中学生の登下校のスクールバスの発着場として整備し、「安全」と「利便性」を確保。



9月補正予算の主な内容

緊急時の安心安全のために「医療情報キット」を配布!
 ……ひとり暮らしの高齢者などを対象に
 ……“キット”は冷蔵庫に保管し、玄関へマークシールを貼り付け
 緊急時に、「持病、主治医、緊急連絡先」などを救助者へ知らせる収納ケースをひとり暮らしの高齢者などへ配布。
 この収納ケースを冷蔵庫へ保管し、玄関などにマーク・シール表示する。
 鳥取県地域「支え愛」体制づくり事業費補助金
 来年の2月頃から配布予定……536千円

医療情報キット……「命のバトン」



バトンに入れるもの

- ① 救急情報用紙
(緊急連絡先、かかりつけ医などを記入しておく)
- ② 健康保険証の写し
- ③ 診察券の写し
- ④ 薬剤情報提供書

(注)写真は北海道浜中町のもの

- コミュニティ助成事業
 - ① 地蔵滝の周辺整備 2,500千円(丸山地区)
 - ② 集落有線屋外スピーカー 2,200千円(三部1区)
- 二部小体育館(S40建築:403㎡)の改築
 設計委託料……14,385千円
- 溝口小、太陽光発電設計委託料……2,855千円

町民1人当たり

○借金約69万円、貯金は約26万円
(H22年度末 一般会計ベース)

○黒字額は、2億2千9百万円
(町民1人当たり約1万9千円)!

……町税収入の約17%にひびてき

質問 私たちの町の財政状況をだまかに教えてください。(伯耆町：A子)

〈回答者 日野川 鮎子〉

鮎子 最近、あまり大きな公共事業も一段落し、借金も少しずつ減っています。

数字としては、町民1人当たり…借金は、約69万円、貯金は約26万円です。

A子 そのほかの特徴は、何ですか。

鮎子 一般会計の実質の黒字額(H22)は、2億2千9百万円(H21は、1億2千3百万円)と、対前年度比約86%の大幅増となっています。

単年度ベースでは、国の支援対策もあり財政的にゆとりが出てきたのだと思われます。

A子 これからの財政の見通しは？

鮎子 数年先の地方交付税約5億円の減収見込みなど、厳しい局面が予想されます。要注意!

藍野・ペンション地区に上・下水道整備中!
H25年春の供用開始に向けて約40戸を
対象に、総事業費約5億円

……既存設備の老朽化などを改善へ

質問 藍野地区とペンション地区の上水道・下水道の改善計画について教えてください。

(伯耆町：B男)

〈回答者 大山 太郎〉

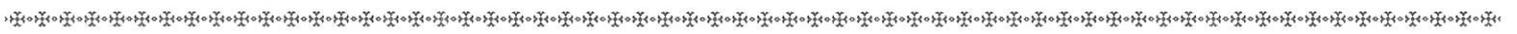
太郎 老朽化したペンションの水道や下水道の整備を、H22～H24の3ヶ年をかけて、総事業費約5億円でしようとするものです。

B男 これまでは、どんなやり方だったんですか。

太郎 これまでは、水道については、藍野地区もペンション地区も小規模水道でした。ペンションの下水道は、個別合併処理となっていました。

B男 これからの水の供給や下水の処理方法は？

太郎 水道は藍野とペンションを1本化し、下水道は、総合公園(大原)内の処理施設で処理をして、維持管理を容易にします。



“防災”は紙に書いたもので対応を！
目に見えるもので対応を！

太郎 3/11の東北大震災や9/3の台風12号など、ことはホントに大変な年ですね。

鮎子 “防災”という考え方が、ほんとに通じないこの頃の災害ではないでしょうか。

太郎 災害は、不意に必ず想像以上のものがやってくる…ということですね。

災害対応の施設整備を！

- ・ 飲用適の防火水槽(60トン)
- ・ 避難施設などの整備を

太郎 これからの防災施設などの考え方は？

こんにちは!

町政問答

清流



です! 大山 太郎 日野川 鮎子

町民のみなさまのお声をお伺いし、お届けすることが原点です!

鮎子 大事なことは、まず食料・水などの確保・安全な避難場所の確保だと思わう。

太郎 具体的には？

鮎子 町内の旧村単位に基づつの「飲み水にもなる地下式防火水槽」を作ること。

それから「食料の備蓄倉庫」をつくる必要があると思うわ。

約三千人が住む大殿、坂長などの旧幡郷地区に……避難建物と土地の確保の検討を!

太郎 伯耆橋は地震のガル(地震の振動などの加速度)に大丈夫かなあ。

鮎子 伯耆橋は、かなりの耐震性を持たせる補強を鳥取県がされています。

でも、万一、橋が落ちたら幡郷地区は孤立して大変。

避難施設や用地の確保の検討を!

溝口エリアの橋の備えも

太郎 それと、大山をとりまく広域農道の橋や溝口地区の鬼守橋、昭和橋、楽々福橋などの災害対応の備えも、さらに必要です。